

1月議会臨時会

1月20日、町議会臨時会が開かれました。南越前町一般会計補正予算案など2議案が審議され、原案通り可決されました。

■一般会計補正予算(第9号)

歳入、歳出それぞれ4億6,801万6千円を増額し、予算総額を122.5億4,968万2千円としました。

「歳入予算の主な内容」

- ・歳入・子育て応援交付金 3,800万9千円
- ・河川災害復旧事業負担金 8,366万8千円
- ・道路災害復旧事業負担金 3億3,092万2千円
- ・県単小規模土地改良事業補助金 1,350万6千円
- ・災害支援金 350万円
- ・町債(緊急自然災害防止対策事業債) 170万円
- ・町債(災害復旧事業債) 9,320万円

「歳出予算の主な内容」

- ・被災自動車購入補助金 3550万円
 - ・出産・子育て応援給付金 570万円
 - ・県単小規模土地改良事業(災害復旧事業分) 2,615万5千円
 - ・道路災害復旧事業 4億1,365万5千円
 - ・河川復旧事業 1,046万1千円
- 水道事業会計補正予算(第3号)
歳出、歳入それぞれ1億6,946万9千円を増額し、予算総額を9億9,551万3千円としました。

地域安全貢献功勞 感謝状贈呈式

12月16日(金)、役場町長室にて、越前警察署の出村署長から町へ、地域安全功勞に対する感謝状が贈られました。

これは、昨年町が、町内の全保育施設に「110番非常通報装置」を設置することにより、防犯設備の重要性を認識し、安全で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献したことが高く評価されたものです。

「110番非常通報装置」は、非常時において、より迅速な警察の臨場を可能にするほか、保育施設内の複数の警告灯が点灯することにより、全ての施設職員が異常事態発生に気づくことができる、非常に優れた防犯設備です。

感謝状を受け取った岩倉町長は、「この度は、ありがとうございます。子どもたちが安心して住める環境づくりのため、今後も心強い施設の整備に取り組んでまいります。」と述べました。



杣山城を愛する会発足式

12月22日(木)南越前文化会館にて、町の貴重な歴史的文化遗产である杣山城跡を保存し、かつ後世に守り伝えていくために、「杣山城を愛する会」の発足式が行われました。阿久和区の嶋崎洋さんが会長に就任し、地元の住民を中心に12人で構成されています。

杣山城跡は、昭和9年3月13日に国史跡に指定され、昭和54年5月21日には国史跡の追加指定を受けています。町では平成30年3月に「史跡杣山城跡保存整備基本計画」を策定し、その基本計画に基づいて、保存整備に取り組んでいます。

「杣山城を愛する会」の今後の活動は、定期的な勉強会や視察研修を開催するほか、杣山城を広く周知するため、毎年開催しているはすまつりと連携したイベントの実施を検討していきます。



日華化学(株)寄付贈呈式

12月26日(月)、日華化学(株)中林義裕総務広報部長が役場を訪れ、手指消毒剤100ボトル100本のご寄付をいただきました。中林総務広報部長が「町民の皆さまにお使いいただきたい」と目録を手渡すと、岩倉町長は「大切に使用させていただきます」と受け取りました。

日華化学(株)は、平成29年度の近畿地方発明表彰において、「非フッ素系撥水剤」に関わる特許が最高賞である文部科学大臣賞を受賞。その技術開発に、「ハスの葉」の撥水性にヒントを得られたことをきっかけに、毎年、南越前町の花はす公園の環境整備維持への貢献を目的にご寄付をいただいています。

いただいた手指消毒剤は町内の保健福祉施設や学校教育施設と温泉・宿泊施設などで活用されています。

